

県大会初出場にして

吹奏楽部 東北大会へ

▷成績 高等学校小編成の部 金賞(19団体中1位)

▷東北大会の期日と場所 9月12日(土) 山形県山形市 やまぎんホール

▷私たちの苦闘、エピソード

私たちが入学して間もない頃、対面式がありました。その対面式で私たちは衝撃を受けました。3年生は覚えていますか？その当時、2年生だった先輩方が2人で部紹介をしていたのです。光洋高校があまり強くないというこは知っていました。が、まさか僕等が前のような状況だとは思いませんでした。そのような部活だ。なので、私たちもコンクールで勝つという意識は全くなく、ただ楽器を吹きに音楽室に来る日々を送っていました。しかし、

私たちの心の奥底には「3年生にな、た時に勝負できる部活だ、たらいいな」と

いう思いもありました。そんな中で、1年生だ。に私たちもコンクールに出場することを選別しました。「小編成の部」という人数の少ない部門の中でもさらに少ない10人という少ない人数で出場するからには、バリバリという思いで演奏しました。結果は銀賞(7校中4位)。顧問の八代悦二郎先生が「このままで本当にいいの？」という言葉をかけてくださった。私たちがはじめての話し合っ時間を作り、その中で、3年生にな、た時に勝負できる部活を目指そうと意志が固まり、1月に行われた後期音楽発表会を境に新しいスタートを切りました。それからは曲の難易度を少し上げ、曲作りにも真剣に向き合いました。周りからも「吹部、最近頑張っているね！」などの言葉を。その年の新入部員は14人の14生。今年こそ東北大会に行けるという思いで夏のコンクールに出場しました。が、結果は銀賞(7校中4位)。あと一歩の位で上だ。私たちも結果にとらわれず、来年度こそはという気持ちに切り替え、多くの時間を練習に費やしました。アンサンブルコンテストや野外コンサート、校内発表を通して経験を積みました。そして迎えた今年の春、13人の15生を迎え、吹奏楽部は31人になりました。新一年生が入り、全体のサウンドや音、バランスや良い方向に成長し、モナパーンションが上まりました。1年生の頃から指導していた根本直人先生をはじめ、色んな方から協力をお願いした。日々の練習に励みました。今回演奏した組曲「虫」の練習がはじまると、また新たな課題が出てきました。思い通りに表現できない悔しさ。辛い思いなど、私たち3年生だけではなく、1・2年生も同じように苦しい思い。辛い練習の日々を過したと思います。合奏中にはみんなが色々な虫を想像し、騒ぎつつも、作品と向き合う努力をしました。個人の技量を高め、気持ちをMAXに!! そんな思いで迎えた夏のコンクール。今年こそはという思いで挑みました。結果は...

なんと!! 光洋高校吹奏楽部創部初となる金賞(7団体中1位)

そして県大会出場を決めました。2年越しの悲願に、溢れる涙が止まりませんでした。その後、県大会でも金賞(19団体中1位)を受賞し、東北大会への出場権を獲得しました。いわば光洋高校の夏は、まだまだ終わリません。これから応援よろしくお願いします!!

＜東北大会への意気込み＞

初の東北大会ということで、光洋高校吹奏楽部に新たな歴史が刻まれます。ここまで1位通過できたことに感謝の気持ちでいっぱいです。しかしここで満足せず、上を目指し、東北大会でも1位を狙って日々練習に励もうと思います!!

顧問の先生より

八代先生

壮行会等、演奏の機会を多くいただき、感謝しております。東北大会の舞台では素敵な音楽を演奏できるよう、生徒と共に頑張ろうと思います。応援よろしくお願いします

坂本先生

皆さんの応援のおかげで、東北大会に出場することができました。東北大会でも頑張りますので、応援よろしくお願いします。